

# 第 55 回「全国漆器展」

## ～ 審査講評 ～

開催日時： 令和 2 年 9 月 17 日（木） 15：00～17：45  
（審査会）

会 場： 一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会 大会議室  
〒107-0052 東京都港区赤坂 8-1-22-2F

出品産地：	津 軽 塗（青 森 県）	川 連 漆 器（秋 田 県）
	会 津 塗（福 島 県）	江 戸 漆 器（東 京 都）
	木 曾 漆 器（長 野 県）	高 岡 漆 器（富 山 県）
	輪 島 塗（石 川 県）	山 中 漆 器（石 川 県）
	金 沢 漆 器（石 川 県）	越 前 漆 器（福 井 県）
	紀 州 漆 器（和 歌 山 県）	香 川 漆 器（香 川 県）

賞の種別：

●団体賞 桂宮賞、内閣総理大臣賞、日本経済新聞社賞

●個人賞 -産業工芸品部門-

経済産業大臣賞

経済産業省製造産業局長賞

(株)商工組合中央金庫社長賞

(公財)日本デザイン振興会賞

(一財)生活用品振興センター理事長賞

(特非)食空間コーディネーター協会賞

日本漆器協同組合連合会理事長賞

審査員特別賞

奨励賞

-美術工芸品部門-

農林水産大臣賞

林野庁長官賞

日本経済新聞社賞

(一財)伝統的工芸品産業振興協会賞

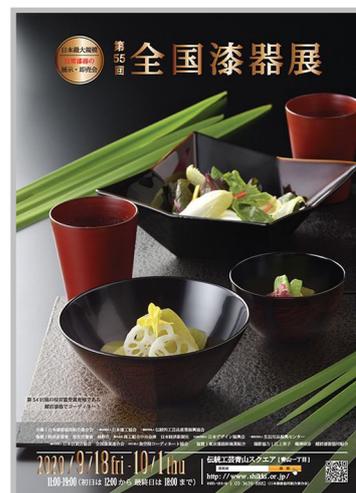
(一社)日本百貨店協会会長賞

全国漆業連合会会長賞

(一社)日本漆工協会理事長賞

審査員特別賞

奨励賞





## 漆器産業の未来が見えた第55回「全国漆器展」

### ～ 審査総評 ～

世界中が大きな不安を抱えている2020年、記念の年となる第55回の全国漆器展には、産地から多くの作品が寄せられた。出品数が若干減ったことは致し方がないことであるが、困難な状況の中で、高いレベルの作品を作り続けてきた作り手のエネルギーに審査員一同大きな感動を受け取ることができた。

日本人は幾世代にも渡り、漆を生活の中心に置いてきた。建築の内外、移動の籠、箆笥などの家具、食器、化粧道具、刀、鎧、鎧の武具、印籠、櫛の装身具など身の回りが、漆製品に囲まれていた。現在は、世の中が大きく変わり、生活様式の変化とともに、物の価値観も変わり、過去のような形の漆の出番は無くなっていくのが現状である。

今回の審査会には各分野で活躍する15人の方々が集まった。そのうち5人が女性であり、購入する側、使い手側からの評価が大きな意味を持った。審査会では全ての情報が伏せられ、得点を入れていく。この段階ではお互いの私語は禁止である。票数が発表されてからはお互いに意見を述べ合い、出品作の特徴、なぜこの作品が良いかについて作品を前にして何度も丁寧に話し合いが行われていく。

確かな技術と豊かな感性、そして作り手側の何を見て欲しいかの提案性がはっきりと見て取れる作品に点数が集まった。今年上位に入った作品を見ると、色彩的に鮮やかで、華やかな作品に点数が集まった。いずれも個性的で魅力的である。漆器業界の未来を感じることができたことが今回の重要な点であろう。

漆器は日本のみでなく世界の人々が求めている。ここに出品された作品が使う側の手に渡り、時代を超えて次世代へと伝えられることを祈念している。



第55回全国漆器展  
審査員長 三田村有純 記

# § 目次 §

§ 審査総評	1
§ 目次	2
§ 審査講評	3
-美術工芸品部門-	
農林水産大臣賞、林野庁長官賞	4
日本経済新聞社賞、(一財)伝統的工芸品産業振興協会賞	4
(一社)日本百貨店協会会長賞、全国漆業連合会会長賞	5
(一社)日本漆工協会理事長賞、審査員特別賞	5
奨励賞	6
-産業工芸品部門-	
経済産業大臣賞、経済産業省製造産業局長賞	8
(株)商工組合中央金庫社長賞、(公財)日本デザイン振興会賞	8
(一財)生活用品振興センター理事長	9
(特非)食空間コーディネーター協会賞	9
日本漆器協同組合連合会理事長賞、審査員特別賞	9
奨励賞	10
§ 審査員	11
§ 審査方法と結果	11
§ 参考資料	14
歴代大賞受賞作品一覧 (個人賞)	15
歴代受賞一覧 (団体賞)	16

**美術工藝品部門  
受賞作品**



農林水産大臣賞  
[青海光 菓子鉢]  
采色塗 なか門(輪島塗)

外側から内側にかけて印象的な青色が塗られ、内側は青から白色に細い暈し塗りで塗られている。緊張感のある美しさの中に内外共に蒔絵で青海波、沈金で七宝繋ぎ文様が表されている。塗りも蒔絵、沈金も曲面には難しい技法であるが高い技術で完成された秀作である。



林野庁長官賞  
[プレート 華美 青]  
田谷漆器店(輪島塗)

色漆3色を用いて仕掛けを行い、青漆の上塗りを行ない、全面を均一に研ぎ上げる。見えてくる模様は様々なことを想定させ、使い勝手の良い作品である。色彩感覚と仕上げ技術の中に新しい表現が見られる優作である。



日本経済新聞社賞  
[ぐい呑み・片口セット]  
今年人(津軽塗)

木胎であるが薄手で実に丹念に作られている。注ぎ口、端反りの口作りなどの形状は見事である。内側の銀色と外側の七七子塗りの対比が美しく、花火のように見える松葉模様が人目をひく。



一般財団法人伝統的工芸品産業賞  
[雪見酒セット]  
加藤漆器店(輪島塗)

円錐形をデザインソースとして作られた酒器セットは現代性を感じさせ、雪の結晶のデザインとも美しい。お盆の形の縁は丸みを帯び、あらゆる場面で活躍のできる漆器である。



一般社団法人日本百貨店協会会長賞  
[「あざみ五」アクセサリチェスト]  
株式会社森繁(香川漆器)

金属製の瀟洒な足が三段の引き出しを掲げる姿は印象的である。前面にテッセンが蒔絵をされ、内側はアクセサリ、時計などが収納ができるように、小さく区切られている。



全国漆業連合会会長賞  
[青貝塗り錆絵花鳥図 文庫]  
武蔵川義則(高岡漆器)

大きな文庫全面に伏せ彩色された青貝で六羽の鶯と梅の花と蕾を表し、梅の幹はサビ絵で盛り上げ、全体を華やかに構成している。貝の輝きの中から見える彩色は美しく華やかである。



一般社団法人日本漆工協会理事長賞  
[三段小重]  
白川勝義(津軽塗)

七々子塗りの仕掛けの色の赤、黄、青がバランスよく配されてドット模様となり瀟洒で愛らしい。小ぶりの重箱は食の場面だけではなく、様々な機会に使われることが期待される。



審査員特別賞  
[六五重三段 絆]  
松原紗霧(越前漆器)

内側には朱が塗られている。外側は木地呂塗りの上に市松に花模様が彫られる。彫りはすべて点であり、小さな点の積み重ねで模様を表す。模様の内側には多くの金粉を蒔くことで丸みのある板面がより美しく見える。



奨励賞  
[乾漆盛器 麗(レイ)]  
木村貞夫(越前漆器)

広く底面を持ち、縁はわずかに輪花となる形状が美しい。内側には金箔で大きな木立を表現し、その上に木地呂漆を塗り、研ぎ仕上げで中の金箔を見せる。使いながら鮮やかに出てくる模様を楽しみたい。



奨励賞  
[オカメインコ蒔絵飾皿]  
株式会社うるしアートはりや(山中漆器)

裏表とも実に丹念に表現されている。金蒔絵のオカメインコの愛らしさと青緑色のみの貝の貼り込みの対象が美しい。どこを取っても細部まで神経がゆき届き作者の美意識の高さを感じさせる。



奨励賞  
[乾漆花器「NAMI」]  
漆工房 北山(香川漆器)

全体の揺らぎのある形態が独特である。作者は花器としているが、ワインクーラーとしてもフルーツバスケットとしても使える器である。内外につけられた小さな花の連続は心地よく配されている。



審査風景(美術工芸品部門)

產業工藝品部門  
受賞作品



経済産業大臣賞  
[八角盆(彩) 3点セット]  
畑勝日佐(高岡漆器)

産業工芸部門の中でダントツの1位。とても綺麗というのが、部門審査員皆の意見。料理も盛りやすそうだし、料理が映える。日常でも、とても使いやすいそう。盆を重ねた時の重なりも良く、日頃の使用についてもしっかりと考えられている。一セットと言わず、来客の分も含めて複数枚欲しくなる。



経済産業省 製造産業局長賞  
[樺 三つ組 ゆらぎボール 銀嵯美]  
有限会社中出漆器店(山中漆器)

デザイン的にもとても優れている。新しさの中に、伝統がしっかりと入っている。個人としても、会食の場でも使用出来る柔軟性を感じる。部門審査員一押しの作品。皆が“欲しい”と言っていたのが印象的。産業工芸品ということで、欲しいと思わせる商品の力、とても大事なことだ。



株式会社商工組合中央金庫社長賞  
[漆陶 さざなみ彫皿 3枚セット]  
株式会社土直漆器(越前漆器)

越前焼に漆を塗るという独自の技法が目飛び込む。伝統の中に新しい挑戦を盛り込む。彫りによる高低差を利用して漆塗の濃淡をマチエールとして使い、美しくも新しいデザインの世界を見事に切り拓いた。



公益財産法人日本デザイン振興会賞  
[ランチョンマット 紬塗]  
氏家漆器株式会社(高岡漆器)

質感も含めてクオリティーが高く、デザインがとても美しい。それでいながら機能性を兼ね備えている。値段も手頃と感じ、市場性も含めて部門審査員の評判がとても高かった。欲しいと思わせる力のある逸品。



一般財団法人生活用品振興センター理事長賞  
[パーティーション 螺鈿]  
駒井康亨(高岡漆器)

今、新型コロナウイルス対策として店舗等に仮設パーティーションを多く見かけるが、常設に耐えうる見た目のものが徐々に求められていると感じる。そんな折、新しい生活様式にも日本の伝統工芸である漆の可能性を主張することは、社会において活躍の場を見出すという点に於いてとても重要に思う。



NPO 法人食空間コーディネート協会賞  
[ふくもの重]  
吉田漆器工房(輪島塗)

日本の福物を漆絵で散りばめ、遊び心ある可愛らしいデザインが魅力的。子供の節句にプレゼントでもらったら、一生ものの宝となるだろう。子供に喜ばれ、大人になっても長く使って頂けると感じられ、長い目で使用するという、本来の漆の良さが作品を通して体感出来るのではないだろうか。オーダブルに使ったり、チョコレートを盛り付けたり、多目的に使用出来そう。



日本漆器協同組合連合会理事長賞  
[花台 3種]  
武安隆司(越前漆器)

左右にある菱形の意匠が、強いアクセントになっている。造形としての緊張感が素晴らしい。盛り台としての使い方も良さそう。お刺身やお寿司など、一人前ずつという使用も良いが、テーブルの中心に高さを加える為の盛り台として使用すると、食のテーブルを華やかに演出出来るだろう。



審査員特別賞  
[本堅地 堆朱弁当]  
瀧澤直樹(木曾漆器)

ぱっと見て、欲しくなるデザイン。このかたち、デザインとして落ち着かせるのにはとても難しいが、緊張感ある、所有欲を満たすデザインにまとめられている。この価格でこのクオリティー。お弁当ブームの今、いつもとは違う、上質なお昼の時間を楽しめそう。



奨励賞  
[マイカップ]  
利山(川連漆器)

工芸品は新規性だけに囚われることなく、凍としていて欲しいと思う。その気持ちがかたちとなって目の前に表れたという印象。こういう世界、好きだなー、と素直に思えた。全体のデザインも優秀だが、内側の螺鈿がとても綺麗。人と接する、カップとして最も重要な部分にこういうデザインを散りばめるセンスが素晴らしく、細部まで気を遣って造られていると感じる。軽さも印象に残る。これは、欲しい。



奨励賞  
[三日月「おぼろ」八寸]  
三崎憲雄(越前漆器)

好みはあるかと思うが、価格的にも市場性はあると思う。部門審査員からは、デザインが少し古典的であり、もう少し今好まれるデザインでも良かったのでは、という意見も。



奨励賞  
[櫛 加飾碗 black (5種) 挽筋、盛筋、平筋、ピリ筋、乱筋]  
株式会社我戸幹男商店(山中漆器)

日常にすぐにも使えそうな、使い勝手の良さそうなデザイン。通常の汁碗とは少しかたちを変えることで、ボウルとして、またスープを入れたりなど、様々な用途で使用出来る。挽筋、盛筋、平筋など山中漆器の伝統技術を巧みに使いながら、それでいてモダンに見える。手ざわりもよく、碗の色が料理に映えそうだ。贈答品としても、喜ばれるのではないだろうか。和洋問わず使えそうだ。



審査風景(産業工芸品部門)

【審査員】

審査員長	東京藝術大学 参与 名誉教授 三田村有純	
部門	産業工芸品	美術工芸品
審査 部門長	東京藝術大学デザイン科 准教授 鈴木 太朗	(兼)東京藝術大学 参与 名誉教授 三田村有純
審査員	経済産業省 製造産業局 生活製品課 企画官 斎藤 秀幸	林野庁 林政部 経営課 特用林産対策室長 塚田 直子
	江上料理学院 院長 江上 栄子	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会 専務理事 秋葉 和生
	公益財団法人日本デザイン振興会 事務局長 村上 樹人	株式会社世界文化社 取締役 上席執行役員 今井 朗子
	一般財団法人生活用品振興センター 理事長 中川 繁樹	株式会社高島屋 MD 本部 リビング・サービス部長 長澤 宏子
	NPO 法人食空間コーディネート協会 ひがしきよみ	全国漆業連合会 副会長 大内 隆
	東京都漆器商工業協同組合 理事長 高木 為嗣	一般社団法人日本漆工協会 理事長 玉川 義隆
	日本漆器協同組合連合会 理事長 土田 直	—

(敬称略・順不同)

【審査方法と結果】

各産地の予備審査を経て出品された「美術工芸品部門30作品」、「産業工芸品部門38作品」を対象として、審査員は各部門の評価ポイントの評価などを勘案し、以下の手順で審査を実施した。

審査 部門	出品 内容	出品 条件	評価ポイント			
			市場性	デザイン性	技術力	機能性 (日常性)
			「購入する」観点での評価			
			・販売ターゲット が明確 ・価格設定が優れ ている	・見た目に美しい ・使い勝手に優れ ている	・卓越した技術 力、伝統的な技 法の採用 ・革新的な技術の 採用	・現在のライフス タイルにあっ た機能の保持 ・新たな提案
美術 工芸品	漆器	新作 少量品	◎	◎	◎	○
産業 工芸品	漆器 合成漆器	新作 量産品	◎	◎	○	◎

1. 担当部門の10作品を選出。
2. 選出した作品毎に、各評価ポイントを「非常によい」「よい」「ふつう」の3段階で評価したうえで投票。
3. 投票を集計し、総得票数の上位12作品程度を最終候補作品として、以下の手順で個人賞を決定。

～個人賞の決定手順～

産業工芸品部門	分類	美術工芸品部門
経済産業大臣賞 経済産業省製造産業局長賞	① 官公庁	農林水産大臣賞 林野庁長官賞
(株)商工組合中央金庫社長賞 (公財)日本デザイン振興会賞 (一財)生活用品振興センター理事長賞 (特非)食空間コーディネート協会賞 日本漆器協同組合連合会理事長賞	② 公的・公共機関/ 業界団体	日本経済新聞社賞 (一財)伝統的工芸品産業振興協会賞 (一社)日本百貨店協会会長賞 全国漆業連合会会長賞 (一社)日本漆工協会理事長賞
審査員特別賞 奨励賞	③ 審査会	審査員特別賞 奨励賞

- (1) 分類①の各賞については、各部門の得票数の1位と2位で決定した。
- (2) 分類②の各賞については、各部門の得票数3位以降の作品と各賞交付団体の特性とのマッチングなどを行い、各賞を決定した。
- (3) 分類③の各賞については、残りの最終候補作品の得票数上位より順番に決定した。

-美術工芸品部門(得票上位 18 作品)-

賞名	品名	出品者	産地組合
農林水産大臣賞	青海光 菓子鉢	采色塗 なか門	輪島漆器商工業協同組合
林野庁長官賞	プレート 華美 青	田谷漆器店	輪島漆器商工業協同組合
日本経済新聞社賞	ぐい呑み・片口セット	今年人	青森県漆器協同組合連合会
(一財)伝統的工芸品産業振興協会賞	雪見酒セット	加藤漆器店	輪島漆器商工業協同組合
(一社)日本百貨店協会会長賞	「あざみ五」アクセサリチェスト	(株)森繁	香川県漆器工業協同組合
全国漆業連合会会長賞	青貝塗り錆絵花鳥図 文庫	武蔵川義則	伝統工芸高岡漆器協同組合
(一社)日本漆工協会理事長賞	三段小重	白川勝義	青森県漆器協同組合連合会
審査員特別賞	六五重三段 絆	松原紗霧	越前漆器協同組合
奨励賞	乾漆盛器 麗(レイ)	木村貞夫	越前漆器協同組合
奨励賞	オカメインコ蒔絵飾皿	(株)うるしアートはりや	山中漆器連合協同組合
奨励賞	乾漆花器「NAMI」	漆工房 北山	香川県漆器工業協同組合
—	彩光蒔絵 小吸物椀	(株)能作	金沢漆器商工業協同組合
—	手堤小箱 鳳凰蒔絵	大竹 勉	会津漆器協同組合
—	おもてなし揃え「うるし物語」	岡垣漆器店	輪島漆器商工業協同組合
—	銘々皿 黄彩鳳凰キンマ	文新堂漆器工業(有)	香川県漆器工業協同組合
—	盛皿 シャクハク紋	渡辺漆器店	香川県漆器工業協同組合
—	ぐい呑み 富嶽三六景	中島忠平漆器店	輪島漆器商工業協同組合
—	変り塗り 大皿	谷岡漆芸	紀州漆器協同組合

-産業工芸品部門(得票上位 18 作品)

賞名	品名	出品者	産地組合
経済産業大臣賞	八角盆(彩) 3点セット	畑 勝日佐	伝統工芸高岡漆器協同組合
経済産業省製造産業局長賞	櫛 三つ組 ゆらぎボール 銀嵯美	(有)中出漆器店	山中漆器連合協同組合
(株)商工組合中央金庫社長賞	漆陶 さざなみ彫皿 3枚セット	(株)土直漆器	越前漆器協同組合
(公財)日本デザイン振興会賞	ランチョンマット 紬塗	氏家漆器(株)	伝統工芸高岡漆器協同組合
(一財)生活用品振興センター理事長賞	パーテーション 螺鈿	駒井康亨	伝統工芸高岡漆器協同組合
(特非)食空間コーディネート協会賞	ふくもの重	吉田漆器工房	輪島漆器商工業協同組合

賞名	品名	出品者	産地組合
日本漆器協同組合連合会理事長賞	花台 3種	武安隆司	越前漆器協同組合
審査員特別賞	本堅地 堆朱弁当	瀧澤直樹	木曾漆器工業協同組合
奨励賞	マイカップ	利山	秋田県漆器工業協同組合
奨励賞	三日月「おぼろ」八寸	三崎憲雄	越前漆器協同組合
奨励賞	樺 加飾椀 black (5種) (挽筋,盛筋,平筋,ピリ筋,乱筋)	(株)我戸幹男商店	山中漆器連合協同組合
—	樺足 蒔絵ワイングラス	橘漆工芸	東京都漆器商工業協同組合
—	二段角重	イシオカ工芸	青森県漆器協同組合連合会
—	絵変わりジュエリーケース	助田幹夫	越前漆器協同組合
—	本堅地 溜塗り弁当	瀧澤直樹	木曾漆器工業協同組合
—	手許箱	小林重信	会津漆器協同組合
—	指輪入 リボン・青いバラ・ ひまわり・結び・赤いバラ	高瀬 淳	会津漆器協同組合
—	縄文片口ぐい呑みセット	秋田・川連塗 寿次郎	秋田県漆器工業協同組合

～団体賞の決定手順～

- (1) 個人得点を産地組合毎に集計した合計に、個人賞毎に設定された受賞加点を加算した総得点の上位より、各賞を決定した。

第1位[桂宮賞]	第2位[内閣総理大臣賞]	第3位[日本経済新聞社賞]
輪島漆器商工業協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合	越前漆器協同組合

産地組合別ポイント集計表

産地組合名	美術工芸品部門					産業工芸品部門					合計	受賞加点	総得点
	市場性	デザイン性	技術力	選定 件	小計	市場性	デザイン性	機能性	選定 件	小計			
輪島漆器商工業協同組合	49	52	57	220	378	10	16	15	60	101	479	70	549
伝統工芸高岡漆器協同組合	12	13	14	50	89	48	45	40	200	333	422	60	482
越前漆器協同組合	22	28	27	110	187	35	38	32	150	255	442	35	477
香川県漆器工業協同組合	30	29	28	110	197	14	12	12	60	98	295	15	310
山中漆器連合協同組合	4	8	9	30	51	30	28	24	110	192	243	30	273
青森県漆器協同組合連合会	21	24	22	90	157	5	7	6	30	48	205	20	225
木曾漆器工業協同組合	7	7	6	30	50	15	16	16	60	107	157	5	162
秋田県漆器工業協同組合						12	16	13	60	101	101	5	106
会津漆器協同組合	5	5	5	20	35	10	10	10	40	70	105	0	105
東京都漆器商工業協同組合						5	7	7	30	49	49	0	49
金沢漆器商工業協同組合	5	5	6	20	36						36	0	36
紀州漆器協同組合	5	5	4	20	34						34	0	34

以上

**参 考 資 料**  
**( 歴代受賞一覧 )**

歴代(直近 18 年)大賞受賞作品一覧

-美術工芸品部門 (農林水産大臣賞)-

年度(回)	品名	生産者	産地組合
平成 15 年度(38 回)	栓黒 薄挽組鉢	(株)酢谷	山中漆器連合協同組合
平成 16 年度(39 回)	呂色研 八角皿(3 枚組)	後藤 常夫	鳴子漆器協同組合
平成 17 年度(40 回)	波紋大皿 A・B	遠田漆器店	秋田県漆器工業協同組合
平成 18 年度(41 回)	キャビネット西都 28 黒刷毛目漆塗扉朱刷毛目	(株)森繁	香川県漆器工業協同組合
平成 19 年度(42 回)	乾漆盛器	内島 正雄	伝統工芸高岡漆器協同組合
平成 20 年度(43 回)	十二角 三段重	吉田漆器工房	輪島漆器商工業協同組合
平成 21 年度(44 回)	乾漆輪花 盛器	内島 正雄	伝統工芸高岡漆器協同組合
平成 22 年度(45 回)	菊型オードブルセット	滝 健一	秋田県漆器工業協同組合
平成 23 年度(46 回)	松フチ麻布張り丸テーブル	小橋 敬一	越前漆器協同組合
平成 24 年度(47 回)	帯付小判重	津田 哲司	輪島漆器商工業協同組合
平成 25 年度(48 回)	栗朱塗平卓	小橋 敬一	越前漆器協同組合
平成 26 年度(49 回)	乾漆盛器 “越の海”	前田 利栄	越前漆器協同組合
平成 27 年度(50 回)	大盃 奇跡草蒔絵	山崎 夢舟	山中漆器連合協同組合
平成 28 年度(51 回)	乾漆皿「華麗」	山崎 夢舟	山中漆器連合協同組合
平成 29 年度(52 回)	花塗金彩盤	寿次郎	秋田県漆器工業協同組合
平成 30 年度(53 回)	オードブル容器	岡山至鳳堂	輪島漆器商工業協同組合
令和元年度(54 回)	盛皿グリーン(魚)	渡辺漆器店	香川県漆器工業協同組合
令和 2 年度(55 回)	青海光 菓子鉢	采色塗 なか門	輪島漆器商工業協同組合

-産業工芸品部門 (経済産業大臣賞)-

年度(回)	品名	生産者	産地組合
平成 15 年度(38 回)	座テーブル「月光」ダークグリーン漆塗乾漆塗	森 康一	香川県漆器工業協同組合
平成 16 年度(39 回)	パーティー重 2 段	大橋呂色店	輪島漆器商工業協同組合
平成 17 年度(40 回)	三つ足盛器	清水 正義	越前漆器協同組合
平成 18 年度(41 回)	八角形 二段重 平台付	加藤漆器店	輪島漆器商工業協同組合
平成 19 年度(42 回)	小箱波シリーズ(櫛目研出し)	畑 勝日佐	伝統工芸高岡漆器協同組合
平成 20 年度(43 回)	銀彩 酒器セット	撰津 広紀	秋田県漆器工業協同組合
平成 21 年度(44 回)	飾り棚「紫苑 20」彩色塗分 春の詩の図	(株)森繁	香川県漆器工業協同組合
平成 22 年度(45 回)	テーブル「麗風」	森 康一	香川県漆器工業協同組合
平成 23 年度(46 回)	KOTON black V, (Y), (U)	我戸 正幸	山中漆器連合協同組合
平成 24 年度(47 回)	テーブル折脚 風紋	森 康一	香川県漆器工業協同組合
平成 25 年度(48 回)	二段重箱	白川 勝義	青森県漆器協同組合連合会
平成 26 年度(49 回)	飾皿(皿立付) 十二支 螺鈿・蒔絵	天野漆器(株)	伝統工芸高岡漆器協同組合
平成 27 年度(50 回)	カップ・コースター付 外木地呂内側銀地	山田 秀樹	越前漆器協同組合
平成 28 年度(51 回)	会席膳 五彩	畑 勝日佐	伝統工芸高岡漆器協同組合
平成 29 年度(52 回)	引き出し(大・小)と小箱	畑 勝日佐	伝統工芸高岡漆器協同組合
平成 30 年度(53 回)	重箱(取り皿付)	秋元 勝彦	青森県漆器協同組合連合会
令和元年度(54 回)	JUBACO	山口 怜示	越前漆器協同組合
令和 2 年度(55 回)	八角盆(彩) 3 点セット	畑 勝日佐	伝統工芸高岡漆器協同組合

歴代受賞一覧(団体賞)

回	年	桂宮賞	内閣総理大臣賞	日本経済新聞社賞	三越賞	特別奨励賞
1	1967	会津漆器協同組合連合会	青森県漆器協同組合連合会	東京都漆器商工業協同組合		
2	1968	東京都漆器商工業協同組合	香川県漆器工業協同組合	木曾漆器工業協同組合		
3	1969	東京都漆器商工業協同組合	越前漆器協同組合	秋田県漆器工業協同組合		
4	1970	青森県漆器協同組合連合会	秋田県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合		
5	1971	越前漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合	会津漆器協同組合連合会		
6	1972	木曾漆器工業協同組合	神奈川県漆器連合会	富山県漆器商工業協同組合		
7	1973	富山県漆器商工業協同組合	富山県漆器商工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会		
8	1974	石川県漆器連合会	青森県漆器協同組合連合会	東京都漆器商工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合	
9	1975	長野県木曾漆器工業協同組合	会津漆器協同組合連合会	秋田県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合	
10	1976	青森県漆器協同組合連合会	東京都漆器商工業協同組合	木曾漆器工業協同組合	木曾漆器工業協同組合	
11	1977	木曾漆器工業協同組合	香川県漆器工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会	会津漆器協同組合連合会	富山県漆器商工業協同組合 会津漆器協同組合連合会 越前漆器協同組合
12	1978	青森県漆器協同組合連合会	会津漆器協同組合連合会	木曾漆器工業協同組合	会津漆器協同組合連合会	山中漆器連合協同組合 富山県漆器商工業協同組合 越前漆器協同組合
13	1979	富山県漆器商工業協同組合	会津漆器協同組合連合会	青森県漆器協同組合連合会	京都漆器工芸協同組合	木曾漆器工業協同組合 香川県漆器工業協同組合 山中漆器連合協同組合
14	1980	青森県漆器協同組合連合会	山中漆器連合協同組合	富山県漆器商工業協同組合		会津漆器協同組合連合会 木曾漆器工業協同組合 越前漆器協同組合
15	1981	青森県漆器協同組合連合会	木曾漆器工業協同組合	秋田県漆器工業協同組合	会津漆器協同組合連合会	伝統工芸高岡漆器協同組合 越前漆器協同組合 山中漆器連合協同組合
16	1982	越前漆器協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合	会津漆器協同組合連合会	輪島漆器商工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会 香川県漆器工業協同組合 山中漆器連合協同組合
17	1983	青森県漆器協同組合連合会	伝統工芸高岡漆器協同組合	会津漆器協同組合連合会	秋田県漆器工業協同組合	香川県漆器工業協同組合 山中漆器連合協同組合 越前漆器協同組合
18	1984	木曾漆器工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会	会津漆器協同組合連合会	伝統工芸高岡漆器協同組合	越前漆器協同組合 輪島漆器商工業協同組合 香川県漆器工業協同組合
19	1985	伝統工芸高岡漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	会津漆器協同組合連合会 青森県漆器協同組合連合会 木曾漆器工業協同組合
20	1986	伝統工芸高岡漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会	山中漆器連合協同組合	会津漆器協同組合連合会 越前漆器協同組合 東京都漆器商工業協同組合
21	1987	会津漆器協同組合連合会	木曾漆器工業協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合	秋田県漆器工業協同組合 越前漆器協同組合 山中漆器連合協同組合
22	1988	会津漆器協同組合連合会	青森県漆器協同組合連合会	東京都漆器商工業協同組合	香川県漆器工業協同組合	秋田県漆器工業協同組合
23	1989	秋田県漆器工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会	香川県漆器工業協同組合	会津漆器協同組合連合会	越前漆器協同組合
24	1990	越前漆器協同組合	青森県漆器協同組合連合会	香川県漆器工業協同組合	会津漆器協同組合連合会	木曾漆器工業協同組合
25	1991	青森県漆器協同組合連合会	越前漆器協同組合	会津漆器協同組合連合会	山中漆器連合協同組合	秋田県漆器工業協同組合
26	1992	青森県漆器協同組合連合会	木曾漆器工業協同組合	越前漆器協同組合	会津漆器協同組合連合会	山中漆器連合協同組合
27	1993	山中漆器連合協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合	会津漆器協同組合連合会	秋田県漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合
28	1994	香川県漆器工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会	山中漆器連合協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合
29	1995	山中漆器連合協同組合	越前漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合		秋田県漆器工業協同組合
30	1996	越前漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	香川県漆器工業協同組合		青森県漆器協同組合連合会
31	1997	伝統工芸高岡漆器協同組合	木曾漆器工業協同組合	山中漆器連合協同組合		越前漆器協同組合
32	1998	輪島漆器商工業協同組合	秋田県漆器工業協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合		
33	1999	香川県漆器工業協同組合	山中漆器連合協同組合	青森県漆器協同組合連合会		
34	2000	越前漆器協同組合	秋田県漆器工業協同組合	木曾漆器工業協同組合		
35	2001	伝統工芸高岡漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	香川県漆器工業協同組合		
36	2002	越前漆器協同組合	山中漆器連合協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合		
37	2003	会津漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	越前漆器協同組合		
38	2003	伝統工芸高岡漆器協同組合	越前漆器協同組合	木曾漆器工業協同組合		
39	2004	輪島漆器商工業協同組合	越前漆器協同組合	鳴子漆器協同組合		
40	2005	越前漆器協同組合	秋田県漆器工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合		
41	2006	輪島漆器商工業協同組合	香川県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合		
42	2007	伝統工芸高岡漆器協同組合	越前漆器協同組合	山中漆器連合協同組合		
43	2008	輪島漆器商工業協同組合	越前漆器協同組合	秋田県漆器工業協同組合		
44	2009	香川県漆器工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合		
45	2010	秋田県漆器工業協同組合	香川県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合		
46	2011	越前漆器協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合	山中漆器連合協同組合		
47	2012	越前漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合		
48	2013	越前漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	香川県漆器工業協同組合		
49	2014	—	越前漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合		
50	2015	越前漆器協同組合	山中漆器連合協同組合	輪島漆器商工業協同組合		
51	2016	山中漆器連合協同組合	香川県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合		
52	2017	越前漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合	山中漆器連合協同組合		
53	2018	越前漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	木曾漆器工業協同組合		
54	2019	越前漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合		
55	2020	輪島漆器商工業協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合	越前漆器協同組合		

本歴代人賞一覧は「全国漆器展」に名称が変更になってからの一  
覧であり、それ以前の情報については事務局では管理していない

2003年は2月開催から秋(9,10月)開催への切替のため、同年度に2  
度の開催

※桂宮賞の名称については以下の通り  
・第21回までは高松宮賞  
・第22回は三笠宮賞

※第1～2回の高松宮賞・内閣総理大臣賞・日本経済新聞賞の名称  
はについては以下の通り  
・高松宮杯  
・内閣総理大臣杯  
・日本経済新聞社盾

2014年度(第49回展)の桂宮賞の交付について  
2014年6月8日に桂宮宣仁親王殿下が薨去されたため、当該年度の  
交付申請を見送る



## 第 55 回「全国漆器展」審査講評

---

令和 2 年 10 月 1 日制作

制 作 日本漆器協同組合連合会 事務局  
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二丁目 15 番 2 号 松島ビル 4F  
一般財団法人生活用品振興センター内  
TEL 03-3639-8882 FAX 03-3639-8880 E-mail info@shikki.or.jp  
URL <http://www.shikki.or.jp/>

---

本資料を引用・転載する場合は、制作宛にご一報ください。

なお、日本漆器協同組合連合会会員においてはこの限りではありません。